

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Borderline resectable 膵癌に対する術前 S-1 併用放射線療法後の CT 検査における切除可能性診断法の検討
	研究目的	化学放射線療法後に切除を行った患者さんを対象とし、治療前後の造影 CT 所見を比較し組織学的な根治切除との関連性を検討することで、CT 検査における切除可能性についての診断能を明らかにする。また、膵がんでの化学放射線療法後の造影 CT 検査における標準的な治療効果判定を確立する。
	研究期間	西暦 2017 年 8 月 10 日 ~ 西暦 2019 年 9 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	森永 聡一郎
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科・肝胆膵、消化器内科・肝胆膵
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立がん研究センター東病院 放射線診断科 小林 達伺